

浜田市行財政改革推進委員会委員の意見等（事前受付分）

【行財政改革実施計画平成28年度報告及び平成29年度計画（案）について】

1 取組項目について

1-(1)-3 タブレット端末の活用 [P7]

委員	意見等
玉置委員	平成29年度58台導入とあるが、誰に配布するのか。
玉置委員	<p>一般行政に係わる市職員全員に配布し、行政運営に活用し、業務効率化と市民サービスに取り組むべきだと思う。</p> <p>ペーパーレス化は大変良い事だと思うので、印刷・製本その他の労力に賃金を支払うことは一市民としてなんとも無意味な事だと思う。</p> <p>残業を少なくし、早く家に帰って英気を養い、楽しく仕事をしていただきたい。タブレット端末の活用は、1-(1)-13のIT活用による業務改善の推進 [P17] にも、1-(1)-17の物件費の削減 [P21] にある事務の効率化にも繋がるのではないか。</p>

1-(1)-16 高速道路利用料金の削減 [P20]

委員	意見等
小松委員	金城スマートICの利用促進により、何故高速料金が削減されるのか補足説明してほしい。

1-(1)-27 廃プラスチックの焼却による減容機の廃止 [P31]

委員	意見等
小松委員	プラスチック類の焼却は環境に影響はないか。

1-(2)-2 ひゃこるネットみすみの効率的運営 [P44]

委員	意見等
玉置委員	三隅地域の問題として取り上げられている気がするが、大きな問題であり、市全体の問題として捉えたほうが良いのではないか。三隅自治区以外の地域協議会にも参考意見を聞くべきだと思う。そういった意味で、運営方式を指定管理者制度に決めつけるのは早い気がする。

〔裏面あり〕

1-(2)-8 市民、地域との連携強化（地区まちづくり推進委員会の設立推進）〔P51〕

委員	意見等
玉置委員	市民には大変良い制度だと思うが、「市民との協働によるまちづくり」と叫ばれている中、組織率66%の現状をどのように捉えられているのか。
玉置委員	平成20年度から設立が始まっているようだが、既に8年経過している。設立の手間や、助成金申請、実績報告等が煩わしすぎる等の原因もあると思うが、どのように考えるか。事務方が本気で設立にむけて指導していないということはないか。

2-(2)-9 ふるさと寄附の推進〔P88〕

委員	意見等
賀戸委員	ふるさと寄附は建物等のハード事業ではなく、子育てや進学資金等、未来ある子どもたちに使ってもらいたい。

2 取組に係る導入費用について

委員	意見等
小松委員	各事業に財政効果額が明示されているが、新しいシステムや機械等の導入を伴う場合は、導入費用を参考として表記してはどうか。

3 その他意見

委員	意見等
賀戸委員	道路の新設については、地域の要望であっても本当に必要な場合のみ実施しないと維持管理費が増え財政を圧迫すると思う。
賀戸委員	市は「魚」に力を入れているようだが、旧浜田市の下水道事情は非常に悪い。きれいな水を海に戻すことは基本であると思う。
賀戸委員	観光よりも、農業や漁業の「食」を大切にするまちづくりをしていただきたい。